

2 新規採用教員研修について

1. 研修概要

(1) 目的

幼稚園新規採用教員研修は、教育公務員特例法の規定に基づき、新規採用教員に対して、現職研修の一環として実施しています。研修では、基礎的な知識、当面する幼稚園の諸課題等、その職務の遂行に必要な事項を学ぶことによって、幅広い知見を得るとともに、実践的指導力と使命感を養うことを目的としています。

(2) 内容

幼稚園新規採用教員研修は、次のような内容で実施します。

研修の種類	研修日程	内 容
園 外 研 修	年間9日間	大阪府幼児教育センター及び市町村等が実施する、園外における研修
園 内 研 修	年間9日間	園内における幼児教育アドバイザー、幼児教育コーディネーターによる指導及び助言による研修

(3) 研修受講にあたって

研修には、職場を離れて行う研修（OFF-JT=Off the Job Training）と具体的な仕事を通して行う研修（OJT=On the Job Training）とがあります。新規採用教員研修も、園外研修と園内研修の往還により、理解が深まり、技能が高まるものです。しかし、研修に参加するだけでは、得られる研修成果はわずかなものです。常に課題意識を持って日頃の保育を行い、園外研修と園内研修を関連付けて取り組むことが重要です。

- 園外研修受講にあたっての留意事項
 - ・「研修の手引」は教員生活のチャート（道しるべ）です。研修ではいつでも見られるようにしましょう。
 - ・実施要項・シラバスで研修内容と事前課題を確認しましょう。
 - ・研修に相応しい服装・マナーで参加しましょう。
 - ・やむを得ない理由により欠席や遅刻をする場合は、管理職に相談するとともに、所管課を通じて教育センターに連絡してもらいましょう。
- 園内研修受講にあたっての留意事項
 - ・指導案作成は一人で悩まず、園長や先輩教員に相談して作成するとともに、幼児教育アドバイザー[※]に事前に見ていただきましょう。
 - ・実際に保育に取り組む際には、計画通りに進めることばかりに気を取られることなく、幼児の状況を一番に考えましょう。幼児との時間を大切にすることで見えてくること、気付くことがあるはずです。
 - ・幼児教育アドバイザーや園長、先輩教員からの指導や助言は記録するなど整理をして、それ以降の保育を進めていくうえでの参考にしましょう。

※幼児教育アドバイザー

幼児教育の専門的な知見や豊富な実践経験を有し、域内の幼児教育施設等を巡回、教育内容や指導方法、環境の改善等について指導を行う者のこと。（文部科学省Webサイトより）

2. 園外研修

園外研修では、幼稚園新規採用教員として身に付けなければならない事項（「基礎的素養」「学級経営」「教育課程（指導計画）」「幼児理解」）について、講義、演習等により学びます。

令和6年度 幼稚園新規採用教員研修 園外研修年間計画

回	日時	研修内容	会場等
1	4/17(水)～5/8(水)	大阪府の幼児教育 セルフマネジメント1 －働くための基礎的スキル－ 新規採用教員研修の受講に当たって	オンデマンド開催
2	5/16(木) 15:30～17:00	開講式 幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・ 保育要領を踏まえた子ども理解	大阪府教育センター
	5/17(金)～5/31(金)	食育と食物アレルギーへの対応	オンデマンド開催
3	6/20(木) 15:30～17:00	児童虐待の現状と課題	大阪府教育センター
	6/21(金)～7/5(金)	「ともに学び、ともに育つ」教育 －子ども理解と早期からの気付き・援助－	オンデマンド開催
4	7/22(月) または 7/26(金) 15:30～17:00	これまでの実践を振り返る	大阪府教育センター
	7/19(金)～8/2(金)	リズム運動	オンデマンド開催
5	8/5(月)～8/26(月)	セルフマネジメント2 －メンタルマネジメント－	オンデマンド開催
	8/26(月) 15:30～17:00	指導案・指導計画の作成	大阪府教育センター
6	10/22(火)～11/5(火)	保護者理解と家庭との連携 －カウンセリングの理論と実際－	オンデマンド開催
	11/6(水) 15:30～17:00	学級経営の在り方 －先輩教員の実践に学ぶ－	大阪府教育センター
7	11/27(水) 14:30～17:00	人権について考える －人権尊重の教育について／ 大阪国際平和センターの見学－	大阪国際平和センター (ピースおおさか)
8	1/20(月) 14:00～17:00	子どもの安全と危機管理 セルフマネジメント3 －学び続ける教職員であるために－ 閉講式	大阪府教育センター
9	市町村から 別途通知	市町村 実施研修 (小学校教育との円滑な接続)	市町村から別途通知

※第1～8回は、「公立幼保連携型認定こども園新規採用教員研修」、「私立幼稚園新規採用教員研修」と合同で実施します。

※第4回はどちらかの日程を後日指定

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意

3. 園内研修

園内研修では、園内体制や地域の実情を配慮し、園長の作成した年間指導計画に基づいて、研究保育を中心に学びます。なお、園長や主任だけでなく、幼児教育アドバイザーや他の先輩からも多くの指導・助言を得ることが大切です。

園内研修の指導は、幼児の登園時から学級に入って保育を観察し、降園後に園長や幼児教育アドバイザー、また先輩教員とともに、その日の保育を振り返り、指導助言を受けることが一般的です。

研修計画を立てる際、下表に示した項目等について、適切な時期に、ねらいを絞って実施することが大切です。年間を通じて一度しか取り上げない項目もあれば、毎回取り上げる項目もあるでしょう。同じ項目であっても、年度当初と年度の終わりごろでは、ねらいが異なります。

1回目は原則や理論を学ぶことに重点を置き、2回目は具体的な保育実践に基づいて実施するなど、目的と課題を明確にして取り組むことが大切です。

<参考> 幼稚園新規採用教員研修 研修項目例

基礎的素養	学級経営	教育課程（指導計画）	幼児理解
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の教育目標、方針の理解 ・地域の理解と活用 ・園務分掌 ・健康安全指導の進め方 ・幼稚園教育の現状と課題 ・幼稚園の組織と運営 ・教員の服務と心構え ・幼稚園教育の基本 ・人権尊重の教育 ・心身に障がいのある幼児の理解 ・小学校教育との接続 ・他園種との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級事務の進め方 ・保護者の理解と家庭との連携の仕方 ・保護者会の進め方 ・学級経営の意義 	<ul style="list-style-type: none"> ・週、日案の作成の方法 ・指導の実際 ・遊びや生活の仕方の指導と実際 ・行事の考え方と実際 ・環境構成の考え方と実際 ・園具、教具等の工夫 ・保育の展開と反省・評価 ・教育目標と教育課程 ・指導計画の作成 ・保育参観と研究保育 ・園具、教具、視聴覚機器等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の理解と指導の実際 ・幼稚園教育における評価の考え方 ・記録の取り方と指導要録の記入の実際 ・幼児の発達の理解 ・幼児理解と評価

4. 研修の目標設定と振り返り

(1) 目標設定

先に、研修に取り組むには日常の課題意識が必要と述べましたが、具体的にはまず目標を設定することが大切です。目標設定に際しては、幼稚園教育要領や所属の幼稚園の指導方針などを踏まえたうえで、定期的実施される園外研修や園内研修の研修項目やテーマを参考にしてください。

(2) 振り返り

目標を設定したら、達成に向けて取り組むわけですが、一定期間ごとに振り返り、成果と課題を整理しておきましょう。成果であったことはより高めていけばよいですし、課題として残っていることは克服に向けてどうすればよいのかを考え、園長や研修指導員などに相談しましょう。

設定した目標やその取組みの内容は簡単に記録をしておいて、見直すことで自らの資質の向上に大変有益なものとなります。次ページに参考となる様式見本（マイ・ポートフォリオ[※]）を示していますので、ぜひ活用してみてください。

※ポートフォリオ

もともと、絵ばさみや書類入れのこと。ここでは自分が取り組んだ内容についての記録を残しておくこと（あるいはそのための用紙）をさしています。決まった形式で記録を残すことで自分の変容がわかり、研究保育などでは、前回の反省を生かした取組みを行いやすくなります。

マイ・ポートフォリオ(様式見本)

(1) 計画と各期の振り返り

①計画(4月記入)	②前期振り返り(8月記入)	③後期振り返り(2月記入)
<ul style="list-style-type: none"> ●目標とする教員像(長期目標) ●この1年で付けたい力(中期目標) 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己の実践を振り返っての成果と課題 ●後期に向けて取り組みたいこと(短期目標) 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己の実践を振り返っての成果と課題 ●2年目に向けて取り組みたいこと(中期目標)
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;">「取り組みたいこと」は、できるだけ具体的に記入</div>		

(2) 研究保育

①実施日時 ②学級 ③研究保育のねらい ④内容	事前指導	※ 事前指導の内容から、研究保育に向けて留意することなど
	事後指導 (研究協議を含む)	※ 研究協議や事後指導の内容から学んだこと、今後の授業改善に向けて取り組みたいことなど